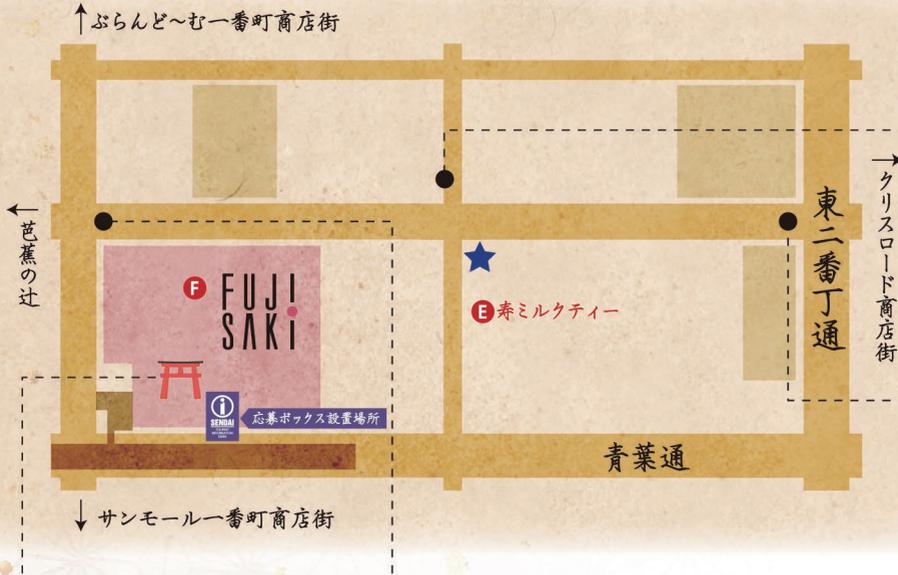


マーブルロードおおまち商店街

「今年はこちら、マーブルロードおおまち商店街にやってきました。ところで、どうしてこの商店街に『マーブルロード』とついているのか、ご存知か?」

「実はこの街区は大理石で舗装されているのじゃ。大理石は異国の言葉で『マーブル』。だからこの商店街は『マーブルロード』と名付けられておるのじゃ。勉強になったのう。……と、毎度毎度僕はいったい、誰に話しかけておるのじゃ」「などと石の話をしていたら、ここでの謎の手掛かりはまさに石に関係がある店にあるらしい。さっそく向かうとしよう」



ファサード



「ファサード」とは建物の正面の外観のことです。その建物の「顔」と言える部分です。令和元年に東二番丁通側と西側(芭蕉の辻方面)のファサードが新しくなりました。日没30分前から23:00まで七色のLEDライトが歓迎してくれます。

日本昔話 オブジェ

昭和62年から約15年間、決まった時間に曲が流れて動き出すからくり人形がありました。令和元年3月のアーケード改修工事の完了に伴って、その6体の人形がオブジェとして復活しました。

大町五丁目始元之地の石碑

昭和20年7月の仙台空襲による焼失を乗り越え「大町五丁目」の商人達は仙台中心部商店街をけん引して復興していったという歴史がありました。国の政策による「居住表示に関する法律(町名地番整理)」施行により、昭和45年に「一番町三丁目」へと改名されました。伝統ある町名が永久に失われることを憂いて、昭和52年3月に有志達がこの石碑を建立し、令和2年10月に現在の場所へ移設されました。



空中ステージ&オルガン



商店街東端を見上げると、6.5メートルの高さに空中ステージが設置されています。定期的にオルガン生演奏が行われ、ショッピングを楽しむ地元客や観光客のひと時に彩を添えてくれます。



伊達三傑 武の武將
伊達成実

藤崎えびす神社



文政2年に初代藤崎三郎助が大町二丁目一番地で「得可壽屋(えびすや)」の屋号で呉服商を創業した当初から「えびす様」を店のシンボルとしていました。その後、増築を重ねた際に神社も何度か移転し、昭和38年に現在地の藤崎本館屋上へ移転しました。今でも商売繁盛・防災招福を願う多くの参拝者が訪れ、仙台の七福神巡りの場所としても人気のスポットです。また、夏の風物詩ビアガーデンはこの屋上で毎年開催されています。

ドコモビジョン



商店街の通行者や観光客向けに仙台の観光情報やお薦めスポット、企業CM、その日のニュースや天気など様々な情報を音声付きで毎日放映しています。地元ゆかりの有名人が登場するコロナ対策のPR動画や、大会が中止になった高校生文化部の発表の場として映像で紹介するなど、タイムリーな動画も放映しています。放映時間は8:00~20:00まで。

奥州・仙台 おもてなし集団伊達武将隊

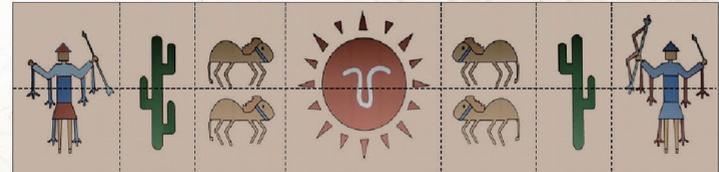
仙台藩祖であり独眼竜政宗の異名を持つ東北の雄・伊達政宗公と、政宗公を支えた伊達三傑の伊達成実(武の成実)、片倉景綱(智の景綱)、茂庭綱元(史の綱元)、景綱の息子で鬼小十郎と称された片倉重綱、慶長遣欧使節で日本人リーダーとして活躍した支倉常長、忍者集団(黒腰巾着)のくのゝ・畑、みちのくの名所を旅した排聖・松尾芭蕉の8名で結成!令和2年には記念すべき活動10周年を迎え、日本国内・海外にも都の都・仙台の魅力を広めるため日夜出陣中!<https://datebusyou.jp/>



てんねいし そうしよくひん あつか みせ まど えが え みる
天然石や装飾品を扱うお店の窓に描かれた絵を見よ。
そのうち、左側にある絵と下の絵を見比べ、異なる場所にある文字を読み。

こたえ

1	7			
---	---	--	--	--



と	け	ち	ま	か	れ	ん
だ	る	は	み	り	お	い